

ギャルで強気巨乳なお姉ちゃんと制服ヤスミンの濃厚ハッキリ！

魔法新撰組

Maho-Shinsen-gumi

処女

ギャルで大好きな
お姉ちゃんは
ボクの性処理係!?
処女 だったから 中出ししちゃった



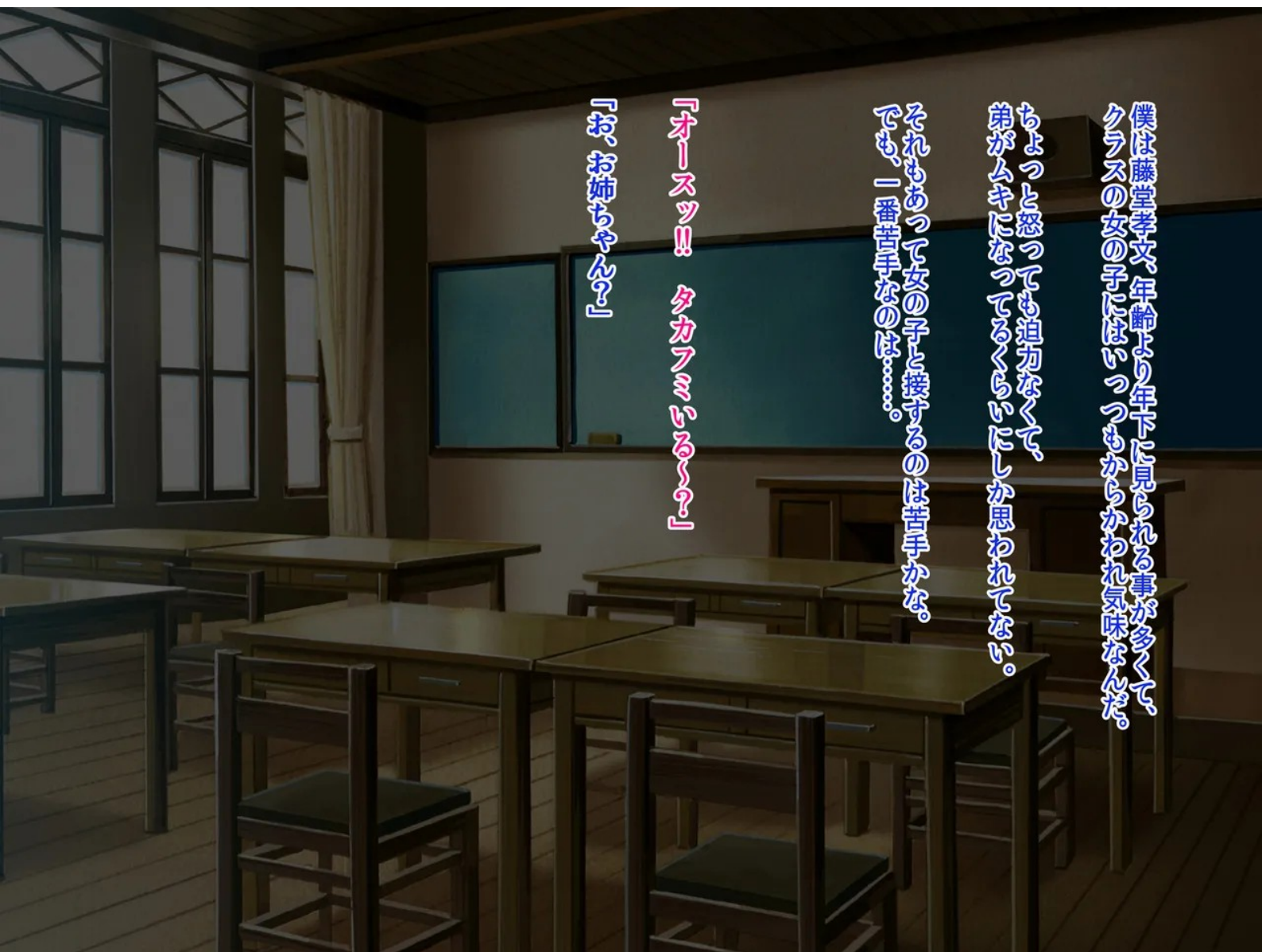
僕は藤堂孝文、年齢より年下に見られる事が多くて、
クラスの女の子にはいつつもからかわれ気味なんだ。

ちよつと怒っても迫力なくて、
弟がムキになつてくるくらいだしかわれられてない。

それもあつて女の子と接するのは苦手かな。
でも、「一番苦手なのは……」。

「オースツ!! タカフミいる??」

「お、お姉ちゃん?」



この突然、教室に入ってきたのは僕のお姉ちゃん、藤堂絵里那。

昔は綺麗で優しくかったけど、ギョルっていうのかな？
最近はなんだかわけわけしくて言葉遣いも変なんだ。

夜になるとこっそり部屋を抜け出して夜遊びしてるみたいだし……。
「弟とつるんでるとかガキじゃあるまいし」とか言ってる、
家の中でもちゃんとお話ししてない。

そんなお姉ちゃんが自分から僕の所に来るなんて凄く珍しい。
こういう時はアリバイ工作とか良くないこと言ってくるんだけど。



「今日はどうしたの？
いつもは呼んでもないのに来るなって言うのよ。
お姉ちゃんの方から僕の所に来るなんて」

「そ、それはその……まあ、大事な用があつて」

「？」

「それよりタカファミは何してたわけ？
慌てて何か隠したの見えただんだから。
もしかしてエロ本？」

「も、もう、そんなじゃないよぉ」



「隠す事ないじゃん。いいから、見せなよ。ほくらっ！」

「あ……」

「……なぐんだ、ただの目誌じゃん。

なんで隠してるわけ？

タカフミも男になつたかつて期待しちやっただじゃん」

「だ、だって、何書いたか見られると恥ずかしいし……」

「はあ？ 何、男の癖に恥ずかしくてんの？

チンポついてないの？

赤いウインナーみたいなチンポ取れちやっただわけ？」



「あ、ちん……だ、駄目だよ、お姉ちゃん。
お、女の子が、ちん……ぼ……だなんて」

「パツカじゃない？ チンポじゃなきゃ何？
陰茎？、それともペニス？」

「あ……」

「キヤハハッ！ 顔真っ赤！ 男の癖におつかしいっ!!」

「お姉ちゃんの意地悪……」

「でもさ、アタシ、基本サボってるけど、
目直つてふっー二人組じゃん。
なんでタカフミ一人で目誌書いてんの？」



「え、えと、それはもう一人の子が用事があるからって先に帰っちゃったから……」

「はあ？ それってサボリじゃん」

「え？ そ、そっなのかな？」

「決まってるっしょ。」

「タカフミ、目直の仕事押し付けられたんだって」

「ぐ……」



「だから、こんなのデキトーでいいじゃん、デキトーでせんせーだつてデキトーにしか見てないつて」

「あ……」

（お、お姉ちゃんの胸が……そんなの見えちゃつたらほぅっ！ おちんちんがおっきくなつちゃううう）

「はい、したの、タカノ…… あつて……」

「な、何も見てなつてばあ」

「何も見てなつて……あ」



「くふふ、おっぱい見てたんだ。タカフミのスケベ」

「か、勝手に目に入っちゃったんだよお」

「やっぱりタカフミも可愛い顔してキョーもあるんだ、
こーゆーの。だったら遠慮いらさないよね」

「興味って……お、お姉ちゃん!？」





ズボン引つ張っちゃ
駄目だつてばあちゃん!?
脱げちゃうよお!!

フッフッフッフ

ほーら、
お姉ちゃんに見せなさい!

いいじゃん
減るもんじゃないし。
あはつて!
頑張って!
テント張っちゃって。



駄目えーっ!!

え……?

な、な、な、な、な
なんなのコレエ!?

お、お姉ちゃんのエッチイ!
じろじろ見ないでよお……

ど、ど、どうして
こんな大きいわけ?
バナナみたいにかくて
振り返ってるし。

ぱるん♡

タカフミのチンポって
タコさんウインナー
みたいなの
ちつこい奴だったでしょ?



それって一緒に
お風呂に入ってた頃の事？
もう何年も前だよ

そ、そんなあ、
タカフミの短小包茎の
ウインナーチンポ
だったら

全然大丈夫だと
思ったのに……

びくっ！
びくっ！

ビクッ！
ビクッ！



大丈夫って……？

な、何でもないっ！
ア、アタシはガッコでも
有名なビ、ビッチな
ギャルだし？

こんなへなちよこ
弟チンポより
デカイの何本も
見た事あるし？
全然平気なんだから！！



お、落ち着いて、
お姉ちゃん

こ、こんなチンポ
なんてチンポなんて……

はう、お姉ちゃんの
息が掛かってる
くすぐりたいよお

びくっ
びくっ
びくっ

びくっ
びくっ
びくっ



……すごい、
ピクピク震えてる。
熱くて破裂しそうな
くらいピキピキ
しちやつてるよお

あ、ああ……
お姉ちゃんの指が
おちんちんに

はあ……凄いいい。
このベタベタしてるのが
先走り汁つて奴？
皮膚の中からも
エッチな匂いが
しちやつてる

びしょっ
ギョッ



これがチンポなんだ。
こんな匂いしたら、
嗅いじゃつたら、
アタシ……..
ビツチになっちゃうら

ひゃ……!?

クククク

びびん

へろ



な、舐めちゃってる……
お姉ちゃんが
僕のおちんちん
舐めちゃってるよお

あ

あ

あはあ……タカフミ、
ここいいんだ。
いいこと知っちゃった

ギョッ
ギョッ



お姉ちゃんの口、
温かくてヌルヌルして
凄いですよ。
おちんちん溶けちゃったら
どうしようお

はっ!!

あふう、舐めても
舐めても溢れて来ちゃう……
顔中、弟汁で
べとべとしちゃいそう



お姉ちゃん、
ボク、もう……もう！

お姉ちゃん、
ごめんなさいっ！

タカフミ？

びゅん
びゅん

ガクッ
ガクッ



だ、出しちゃった……
お姉ちゃんの顔に
出しちゃったよお……

い、今拭くから！
じつとしてて！
えと、ティッシュ
ティッシュ……

……

でも、この匂い
臭いであると
体が熱くなっちゃう

これがタカフミの
せーえき？
すごく濃くて粘ついてて
くっさあい……

びくっ
トロっ

はあ

はあ

ビクッ
クッ
ッ！

そうよ。
アタシはこの弟チンポで
今日こそ絶対に……

お姉ちゃん、どうしたの？
なんか怖い顔して

じ、じつとしてて！
大丈夫、痛くないから！

あ……





な、何してるの？

はあ、はあ

な、何って、その、
み、見りや判るでしょ！

わ、わかんないよお

なんだかお姉ちゃんが
怖い顔して、

お、おちんちんに
パンツこすり
つけてるとしか

アッアッ

アッアッ



そ、それだけ判つてりや
十分でしょ!

その、チンポ勃てた男と
股開いた女が
何するなんて!

でも、お姉ちゃんは
僕のお姉ちゃんだよ!

そんな事したら
怒られちゃう……

びく
くっ

んっ♡

ヌルッ♡

ヌルッ



アタシがいいって
言ってるんだから良いの!

はぁあ

ひゃあ!?
駄目え!?

ブル

ブル



お姉ちゃんのおまんこ
お肉が布越しに僕の
おちんちんを擦ってる!?
こんなの気持ち良すぎるよお



堅いチンポの先が
アタシのお豆を弾いて……
ひい!!

はあ……あ、あひい!
弟チンポがさつきより
ずつと堅くて
熱くなっちゃってる……

ふぁあッ!

あぁッ!

ガクッ
ガクッ
ガクッ

お、お姉ちゃんのパンツが
濡れてさちやってる……
これって……

フルッ



お、おねしょじゃないから！
おしつこと違うからあっ!!

あっ♡あっ♡

ぬる♡

そんなの言っていないよお



ああ……やだ、
やっぱり感じちやってる。

こんな弟チンポに反応して、
エッチなお汁が
止まなくなってるう……
こんな仕濡れ濡れな今なら……



タカフミ、ごめんね!

あ……っ!?

ピクッ
クッ



わわわわ!!

あっ

お姉ちゃん!!

わわわわ!!

わわわわ!!

わわわわ!!



お姉ちゃんのおまんこに
僕のおちんちん
入っちゃった……
ど、どうしよお

はぁ

あ……あめ……
う、う、う、う……

お姉ちゃん？
どうしたの……え？

ヌルッ♡

ヌルッ♡

ガクッ

ガクッ



おまんこから血が出る？
でも、お姉ちゃんは、
あ、あれ？でも……

まさか……
お姉ちゃんは
これが初めて？

じゃ、じゃあ、
余計に駄目だよ！
今すぐ抜くから！

抜いちゃ駄目！

でも！

……





いいの！
アタシが自分で
弟チンポをおまんこに
入れたんだから！

アタシの偽ビッチ処女膜、
デカチン弟にくれてやっ
たんだから！

おまんこにチンポを
入れてる事

キョッ！
キョッ！

ハッ！
ハッ！

ハッ！
ハッ！

ハッ！



あのね、アタシ、
やりまくってる
みたいな事言ってたけど、

ホントは一回も
したことがなかったの

そういう機会は
何度もあったけど、

よく知らない男とかと
するの怖くて
いつもドタキヤンで逃げて……



でも、そろそろ、そういうので
逃げ切れそうじゃない
雰囲気になっちゃって、

でも普段男と
やりまくってまーすみたいに
フカしてたから、

バレたらグループから
速攻ハブられちゃうかも
しれなくて……



だから、今度エンコー誘われても大丈夫なように、

ウインナーチンポの弟とすれば恐くないし痛くもないかなって……

お姉ちゃん……



一生懸命チンポチンポ
言ってるけど、

だ、だから、
これ一回きりにするし。
もうしないから。
だからだから……

あっ♡

きやうっ!?

ビクッ!
ビクッ!
ビクッ!

ホントはおちんちん
苦手なバカエセビッチ
お姉ちゃんでごめんね
タカフミ……

グッ♡
グッ♡
グッ♡



でもお姉ちゃんの事、
僕嫌いじゃないから……

そ、その、
お姉ちゃんとか
こういうのするの
いけないけど、

タカフミ……？



それにお姉ちゃんの腔(なか)、
すつごくニユルニユル
キユツキユと締まってて
気持ちいいから

僕はずっと
このままでいたい



あひゅう!
いきなり
突き上げるなあ

あっ♡

あっ

お姉ちゃん、
凄い、凄いよお

お姉ちゃんみたいなの
美人のおまんこが
今まで誰も
おちんちん入れた事
なかつたなんて

僕がお姉ちゃんの
初めて……
僕のおまんこは
お姉ちゃんのは
お姉ちゃんこ!

びくん!

ズ
ズ♡



つ、強すぎい、
タカフミの童貞おチンポお！
こんなに激しく
動いたらアタシ、

アタシの初心者まんこはあ……
耐えられないい！

ひゃあっ♡

あっ

やあ！
いいくう……
いっちやううううう！

ズチゅ♡

ズチゅ♡



あひい……
は、初めての弟チンポで
気持ちよくなっちゃたよお

お、お姉ちゃん……
まだ……

わかつてる……
姉膜貰ってくれた
ご褒美に最後までしていいよ



わあ……
お姉ちゃんのおまんこ
丸見えだよお。

お尻の穴まで
見えちゃつてる

はぁ♡

いちいち言わなくて
良いわよ、
恥ずかしいんだから……

シクシク♡

シクシク♡



でも、お姉ちゃんの
おまんこも
お尻の穴もみんな可愛いよ？

ムズッム

んんん
んんん

あん！



や、やだ、
タカフミに褒められて
アタシのおまんこ、
超喜んじやつてるう。
もう待ちきれない!!

も、もう!
タ、タカフミ、
何モタモタしてんのよ!
は、早く入れなさいよ!!

わ、判ってる。
じゃあ、行くよ……



ん、んくう……
あ、あう……
お姉ちゃんの開封済みおまんこ、
まだまだぎゅうぎゅうだよお

ビーンムム

ビーン

あぁ

いきなり脳に来たあ！
これマジヤバイ……
弟チンポにアタシのまんこ、
負けちやいそう

プルン

んはあ！

いゅんん♡



あっ、ああっ、
そんなに突いたら
奥が、奥があ

あっ

あっ

あっ

キーン

お姉ちゃんのおまんこ、
いい……
こんなおまんこに
入れちゃつたら

もう他のおまんこなんか
おらんちん
入れられないし
オナニーも出来ないよお



お姉ちゃん……
お姉ちゃん……
僕のお姉ちゃん!

じゅわん

すちゅん

すちゅん

すちゅん

ゝゝゝ

びゅん

びゅん

ふあつ……
あああああ……!

まだ二回目なのに、
ずんずん感じちやってる……
マジヤバイ……
弟なのに、年下なのに……



おまんこはコイツに
従うしかないって
認めちやつてるう

お姉ちゃん、
出ちやう、出ちやうう

あひい！
中は駄目え！
出来ちやう！

ぷるんっ♡

はぁっ

ぷるんっ♡

びくっ♡
びくっ♡

キラ♡
キラ♡
キラ♡



弟せーしと姉らんしで
ごつつんこして
子供出来ちゃう!
外に、外にい

ズン

ひゃあ、あぁあつー!

びく

るっ





「いめんねお姉ちゃんに
いつばいかけちゃった……」

あ、んん……
あ、熱い……
アタシ、弟にマーキング
されちゃったんだ……

ワンちゃんみたいな
格好でせーえき
お便所扱いされちゃった……

ぷるん

ぷるん

いんん

びゅん

びゅん



あたしもこれで
チンポ大好きな
ビッチなのかな……？

アタシの……
アタシの大好きなチンポは……

でもほかの奴等のチンポって
タカフミのビキビキチンポより
凄いのかな？
やだな、タカフミのチンポより
しよぼかったら



お、お姉ちゃん……
ごめんなさいっ
ボクもっ……もっとお!!

え?ちよ、ちよっと
まって……
まださつきイッたので
身体が……

んっ♡

ぬいっ♡

♡



はあっ

ぱんっ

あゝ

はあっ はあっ

あ、あんっ！
やあああつ……
まだ中にさっきの
タカフミの精液が
残ってるからあつ！

はあつ……はあつ……
おねえちやんっ
おねえちやんっ！！

とまらないっ……
とまらないよおっ……

ぴんっ



精液で私のおまんこ
ぐちゅぐちゅになつてえ
はぁあんっ……

うんっ…
さっきのボクの精液で
おねえちゃんのおまんこ
ぐちゅぐちゅになつてて

ボクのおちんちん
ぬるぬるで
すごく動いちゃつてえ
はぁあんっ!!



あ、あ、おねえちゃん
いっつちやううつ
ダメだめだめええつ
子宮の奥から
いっつちやううう!!

うんっ…
ボクもっぼくも
でちやうでちやうようっ!!

ふあああああああ
あああああああ!!

はあああ
あああああ!!



あの後、僕もお姉ちゃんもしばらくぼんやりしちゃってたけど、
下校時刻を知らせる放送に我に帰って、
慌てて後始末して逃げるように帰った。

おかげで目録を出し忘れちゃってて、次の日、
先生にも怒られたけど、そんなの全然気にならなかった。

お姉ちゃんとした事で頭でいっぱいだったから。

こんなの駄目だよな、だってお姉ちゃんなんでもん。
ホントはエツチしちゃいけないし、お姉ちゃんはやっぱり
美人でおまんこも凄いもん。

僕じゃお姉ちゃんと釣り合わないよ。

それにお姉ちゃんもいつもより何だかよそよそしくなっちゃって、
家でも学校でもわざと避けてる感じ。

お姉ちゃんは僕とした事、どう思ってるんだろ？



「……」

「……」

「ひ、久しぶりの……」

「……」

「……」

「……」

「……」



「……」

「……」

(か、会話が続かない……)

(やっぱり、僕といるの嫌なのかなあ)

「お、お姉ちゃんはどう行くの？」

「そ、その、その次の授業、体育だから……」

「そういえば、タカフミって窓側の席だったよね。だつ、だから、アタシのブルマ見ながら、チンポしこしこしても別に怒んないけど？」



「そ、そんな！ 絶対に見ないよお」

「だって、お姉ちゃんのお尻姿見ながらしこしこしちゃったらお姉ちゃんに嫌われちゃうよお。」

「でもしたい……お姉ちゃんのお尻に精液かけたい、つてそんなのいけない事だつてばあ！」

「え……？ み、見ないんだ、ふ、ふうん、そっかお姉ちゃんのブルマ見ないんだ……」

「お姉ちゃん？」

(キンコーンカーンコーン)

『……チャイム』

クラスメイト女子
「孝文くん、もうすぐ授業始まるわよ」

『ぶらん判つてらあ』

クラスメイト女子
「ホント、孝文くんってグズなんだから、
じゃあ先に行ってるね」

「タカフミ……今の誰？」

「だ、誰って、同じクラスの子だよ。ほら、こないだ目直で先に帰った」



「はあ？ じゃあ、タカフミに目誌押し付けた女なわけ？
その割に随分と馴れ馴れしいんじゃない？
孝文くんとか言っちゃってさ」

「そ、そうかなあ、いつも僕に色々怒ってる感じだよ？
悪い子じゃないと思うけど」

「ふぐん……タカヒミつてば、目誌押し付けた子なのに肩持つんだ……」

「お姉ちゃん、もしかして怒ってる？」

「怒ってないわよー！」

（ああ、なんかイライラする……あんな子が孝文の……孝文のチンポを……）

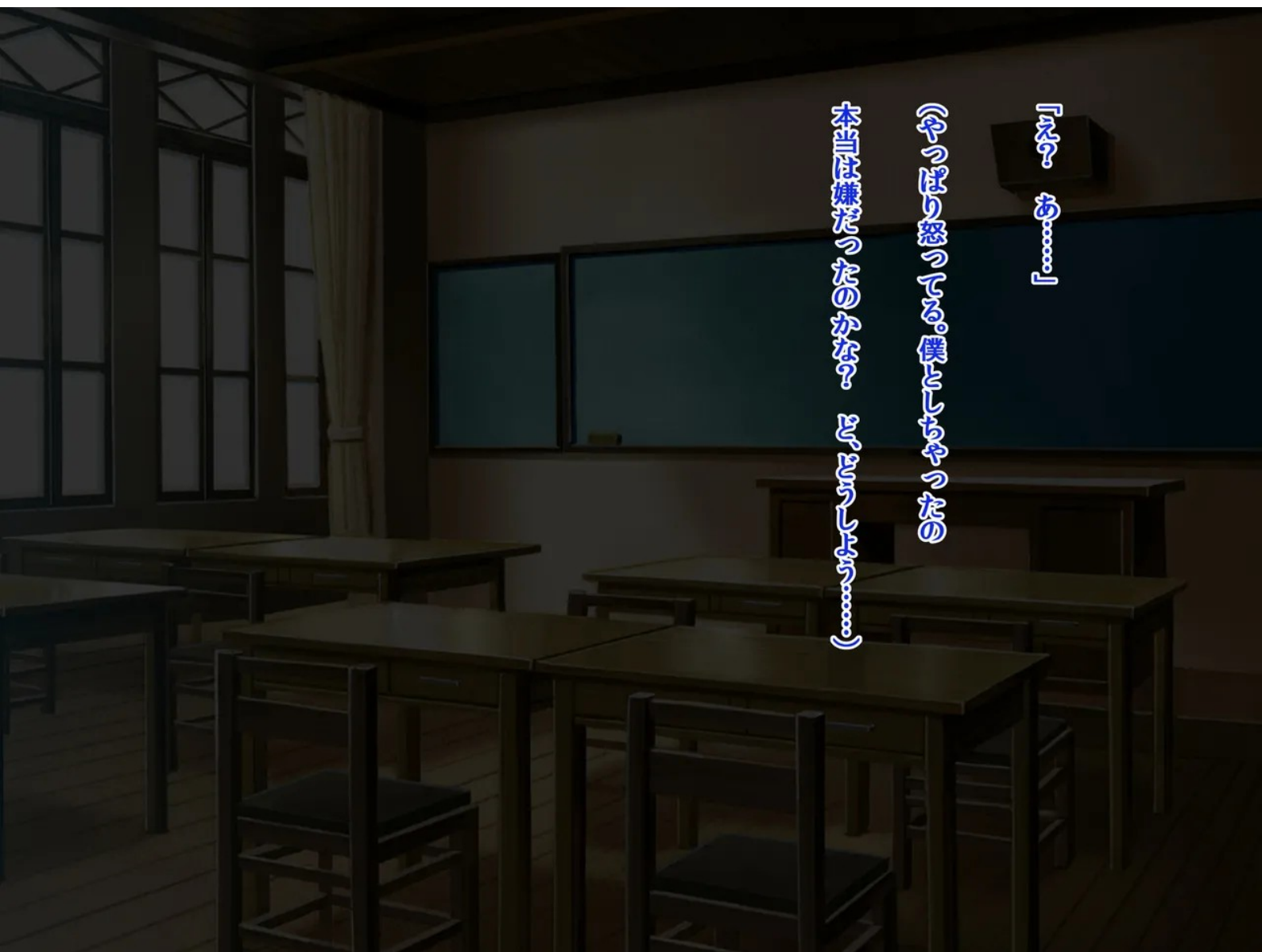
「タカフミ！ 授業が終わったら、体育倉庫に来なさいよね！絶対だから！」



「えっ、え……」

(やっぱり怒ってる。僕としちゃったの)

(本当は嫌だったのかな？ どうしよう……)



「ほめ……お姉ちゃんに言われるまま体育倉庫に来ちゃったけど」

「お姉ちゃんら……お姉ちゃん……ひゃあー」

「はあ!? ア、アタシ? し、してるわけないじゃない!」

「でも、僕とエッチしたのは
おちんちんに慣れるためだったんじゃない?」

「それはそうだったけど……そんなのどーでもいいの!」
「アタシはタカフミのチンポ、他の子のおマンコに
入れて欲しくないの!」
「アタシの、アタシの初めてのおチンポだったんだから!!」

「お姉ちゃん……」

「タカフミはアタシが他の男のチンポ啜えても
いいと思ってるわけ?」

「それは……」

（お姉ちゃんとはホントはしゃべらなからのかまこなんだ。
でも……）



うんじやわかんない。
アタシ、バカな
ギヤルお姉ちゃん
なんだから、

ちやんと判るように
ハッキリ言つて

ぼ、僕、おちんちんを
お姉ちゃんのおまんこに
入れて
ズボズボしたいい！

うふふ、お姉ちゃんのおまんこに
入れたいだなんて、
こーのナマイキチンポめ

びっくうっ

ぐりっ

ぐりっ



ふ、踏んじや駄目え、
で、出ちやうよお

どう？
体育したばつかの
蒸れ蒸れくつしたの
感触は？

はうう、生あつたかくて
くつしたの生地が
おちんちんにこすれて、
おちんちん
おかしくなつちやうよお

ふふりん、お姉ちゃんの
凄さを思い知ったか

ぐりっ
ぐりっ
ぐりっ

ふっ
ふっ



お姉ちゃんの
足テクがこんなに
すごいなんて
思わなかったよ

あつたり前でしょ？
もしかしたら、
タカフミがして欲しいと
言ってくるかもって思ってた、

タカフミのチンポ、
うまく足でしごけるよう
にんじんで練習してたんだから

ギョーっ

ちゅちゅっ



え？ 練習？
もしかしてアレから
僕のために？

え？ あ、
そんなわけないわよお！
たまたま
たまたま
たまたま
たまたま
だからあつ！！

あせっ

あう！ そんなに
いっぱい踏まれたら
出ちやうう！
出ちやうう！

ま、待つて！
まだしてないことが……

ドンッ
ドンッ
ドンッ
どくっ
どくっ





いめんねら……

もう、タ、
タカフミってば……

びくびく
びくびく

びくびく
びくびく

さつきは勢い
ちよつとハードだったね。
今度は優しくしてあげる。
ほら、タカフミが
大好きなオツパイだぞ〜

あふう、
お姉ちゃんのオツパイに
僕のおちんちん
埋まつちやう

むにゅ♡

ふん♡



タカフミのおチンポ……
タカフミの癖に
こんなにも立派だなんて
もう破裂しちゃうそう

お姉ちゃん、早くう

ぱんんんん

♡
おにん

そんなにながつかない。
お姉ちゃん自慢の
オツパイでタカフミの
おチンポ慰めてあげる……



お姉ちゃん、
おちんちんが苦しいよお

はぁ

はぁ

わかつてる。
お姉ちゃんが
タカフミの苦
全部出してあげ
全部出してあげ
全部出してあげ





今日はお姉ちゃんが
してあげる

大丈夫？

大丈夫に決まってるでしょ。
じゃあ、お姉ちゃんの
ギャルまんこで
うんと気持ち良くな
りなさいよね



ふあああ……
お姉ちゃんのぶにぶに
おまんこに
僕のおちんちん
飲みこなれていくう

あひい、
ふ、深いっ!!
子宮に届いちやうう

あ、ああ……
そんなに激しく
動いたら
すぐに出ちやうよお

何度でも
出していいから。
マジタシの弟チンポは
姉専用なんだし

ぶにぶに

ぶにぶに



ほらほら、
我慢とかしちや駄目だつて

弟らしく
お姉ちゃんのおまんこに
びゅっびゅっ
せーしぶちまけちやえ

でも、
このままだと
お姉ちゃんの中
に、中に……

Wiiinn

Wiiinn

チンチン



おいから弟は黙って
お姉ちゃんの言う事
聞いとけば?

うんっ!
お姉ちゃんの中に
いいで出るうっ!!

うんっ!

うんっ!

うんっ!



いーじゃん別に。
生でした方が
気持ちいいでしょ？

はぁ
はぁ

それとも、
お姉ちゃんの中、
気持ちよくなかった？

それともゴムつけないと
ピヨキになるとか
思ってる？

んんん
んんん



そんな事……!!
お姉ちゃんのおまんこは
とつても綺麗で
気持ちいいよ!

も、もう綺麗とか言うなあ
だったらいーじゃん。
ほら、まだまだ
おチンポ元気だよな?
じゃあ……



ふああ……あ、あはあ
タカキミのおチンポ、
大きすぎい!?

お姉ちゃん……
お姉ちゃん……
中がうねうねして
気持ちいいよお!!

も、もう!
そんなに急いだら
駄目だつてえ
ゆっくりい。ゆっくりい!!

ケケ!!

あゝあゝ
ははは

うん

いっ
いっ

いっ
いっ



そ、そんな事
言われても……
こ、腰が止まらない
んだもん!!

ひやあ!
あ、ああ……
タカフミの馬鹿!
馬鹿チンポオ!

弟の癖にい、
お姉ちゃんをこんなにも、
こんなにも
イカせちゃうなんてえ……

こんなにも早く
イカされちゃったら
お姉ちゃん
失格になっちゃうう!!

びん
びん

びん

びん

びん

びん

びん



僕にはお姉ちゃんは合格だよ!
お姉ちゃんおまんこに百点満点なんだから!

ビクウッ!

ひくッ

パッパッ

パッパッ

んはあ……
イクウ、お姉ちゃん
イツちやうう!!?





はあ……はあ……
お姉ちゃん、
すつごく
気持ちよかったよ……

うううううう……
弟チンポにまた……
負けちゃった……、
お姉ちゃんなのに……

お姉ちゃんのおまんこが
凄すぎるせいだよ

ちんちん
ちんちん



もう、
タカフミってば

あ……エツチに夢中で
もう授業始まつちやつてるの
気づかなつかつたよ!
ど、どうしよう、
お姉ちゃん!!

どうつて……
そうだ!

?



「ね、タカフミ、このままガツコ、フケちゃおうか？」

「んー じゃあ……」

「タカフミもまだしたらないでしょ？
それともアタシのおマンコにおチンポ入れるより、
つまらないガツコの授業の方が大事？」

「そ、それは……」

(お姉ちゃんのおまんこはからからなの……)

「ふふ、おチンポは正直じゃん。だったら迷う事なっよね」

そうして、僕は服だけ着替えるところっそり学校を抜け出した……。

ほら、タカフミ、
大好きなおツパイに
おチンポ包まれて
気持ちいいでしょ

ぎゅっ♡

ベクッ!

にゅる♡

くう、石鹸で
ヌルヌルして
気持ちよくなりすぎだよお





あはあ、どんどん
堅くなってきたる……
これならいけそうじゃん

ああ、でも、
僕も……もう……

えく？ もう？
今日のタカフミ、
張り切りすぎい！
なつかくカチカチに
なつたのにい。

でも、今回は
お姉ちゃんの勝ちだよ

石鱈のヌルヌルと
オツパイのセツトは
反則だよ

むにっ

ちゅるーっ

ぽっ

ムニッ





いーわけしないよ！
ほら出していいよ！

ギョーッ

びくっ
びくっ

うん！
僕……僕いっぱい出すう！



まだしてくれるの？

ビクッ
ビクッ
♡

はあ……もうこれで何回目？
まだまだドロドロ
ざーめんじやん。
これならまだまだ
頑張れるよね

とーぜんじやん。
今度はアタシを
いっぱい
気持ちよくしてよね



入れるよ……

んはあ!
ピツチピチの
弟おチンポ来たあ!!

はう、この感触……
にゆぶにゆぶして
やつぱりお姉ちゃん
おマンコが一番だよ!

ヒクッ♡
ヒクッ♡



も、もう！
タカフミだけ
楽しまないでえ！
早く姉マンコに
ズコズコしちゃいなさいよ！

アタシも
辛抱出来ないんだから！

じゃあ、いくね。
はあ……はあ……
お姉ちゃんのおマンコ、
お姉ちゃんのおマンコお

ビクッ
ビクッ
♡

ム
ム



んひい！
奥にズンときたあ！
子宮に響いちやう！！

お姉ちゃん、
お姉ちゃん……

やだ、タカフミ、
そんなに愛おしそうに
見ないで……

そんな目で見られたら、
お姉ちゃん……あはあっ！

ビクッ

ズクン

ヌフッ

ビクッ

ムム



タカフミ、アタシ……
タカフミの事、好きい！

はぁっ♡

はぁっ♡

お、お姉ちゃん!?

お姉ちゃんの全部、
タカフミにあげる！
だから、だから
お姉ちゃんのこと、
好きになつてえ!!

ちゅん♡

ちゅん♡

ズンッ



お姉ちゃん……
僕の事、キライじゃないの？

びくっ

あっ
あっ

にゅっ♡

にゅっ♡

びくっ♡

でも、今そんなの
どーでもいい！

キライなはずないでしょ！
ギヤルになつたのも
弟とずつつるんだとか
恥ずかしかったのか
！



口でなんて言っても、
もうおマンコは
タカフミのことしか
考えられない!!

タカフミの、
おチンポが欲しいのっ

お姉ちゃん

キコッ♡

キコッ♡



んひっ！ 強くしないでえ！
これまで避けてたの
謝るからあ！

パチュン

パチュン

ビクッ
ビクッ

はあん♡

んんんんん

ううん、許さない！
これはお姉ちゃんへの
お仕置き！

僕は……僕はずっとずっと
お姉ちゃんの事
大好きだったんだから

オナニーだつて
お姉ちゃんの写真見ながら
ずっとしこしこ
してきたんだよ！



大好き……？
あん タカフミ、
そんなこと言われたら、
アタシ、アタシ……

びくっ

ぱんっ

ぱんっ

んっ！
お姉ちゃんの中、
さつきよりキュッときたあ！

タカフミ、中に
いっぱい出してえ！
お姉ちゃんのおマンコを
弟ザーメンで
タプタプにしてえ！



いいの？
いっぱい出しちゃったら……

はぁ

はぁ

その時はその時。
もちろんだかファミリーが
くれるんでしょ？

勿論！僕、パパになる！
だからお姉ちゃんを
孕ましてギヤルママに
してあげるね！

んんん

んんん



んぎい!
お姉ちゃん、
ママ予約されて
体が喜んじやうう!

お姉ちゃんの
ど真ん中に
精子ぶっかけちやうよ

うん、早く早く……
お姉ちゃんを
ギヤルママにしてえ!

そ、そろそろ……
うくう!

がくっ がくっ

ひゅっひゅっ
ひゅっひゅっ



はああああつ!!
でてるうでちやつてる
ううう!!

あはあ
弟チンポに負けちゃう
駄目まんこお姉ちゃん
ごめんなさい!

お姉ちゃん、弟おチンポで
幸せになっちゃうう

ぐわん♡

ぐわん♡

びくんっ

びゅるー♡

あゝあ、いっばい出しちゃったね。
こんなに出されたら五つ子出来ちゃうかも

うん、でもこれでお姉ちゃんはボクのものだよね？

生意氣い、タカフミがお姉ちゃんのギヤルマンヨの
専属チンポになっただからあ

援交とかしないよね？

するわけないじゃん。タカフミのおチンポが
相性サイコーなのに。
その代わり、タカフミはアタシに毎日してよね。
他のマンヨに浮気とかしたら許さないから

わかってる。だからお姉ちゃん

ん？

今度結婚しようね

あん タカフミってば……馬鹿あ☆



そ、そんなこと言われても
目隠しされちゃつてたら
何も見えないよお……

びくっ♡

お姉ちゃん、どう？
鏡に映ってるの？

ぱんぱん

びくっ♡

びくっ♡



そ、そ、う、だ、よ、お……

あ、ゴメン
そ、う、い、え、ば、そ、う、だ、つ、た、よ、ね



今日はお姉ちゃんとの
結婚初夜……

お姉ちゃんはあれから
めつきり真面目に
なっちゃって
髪の毛も元の黒い髪に
染め直しちゃった



え?

今日は結婚初夜の
プレゼントを用意して
おいたんだよ





な、なにこれええええ!?
わ、わたしのおまんこに
なにかはひってりゆううっ!!

ひやあああああああっ!!
あ、あっはああああっ!!

はる
しゅん

ズ
く
う
う

グ
グ
グ
グ
グ

あ、あ、あああああっ
のがはいつてりゆ
のおおおおっ!!



あ、目隠し
取れちゃった

ああ……
やああああ……
は、はずかしい……



な、なんか今日のたかふみ
いつもとキヤラ変わってない？

お姉ちゃんがいけないんだよ
髪の毛を昔に戻しちゃうから
ボクも昔みたいになつちや
つたんじゃないか



お姉ちゃん、
髪の毛染めた時は
こんな感じだったけど

やっぱり今みたいに
黒髪のほうがいいな



これからお姉ちゃんとの
新しい生活……
毎日こうやってえっちな
ことをやり続けて……

……
そしてお姉ちゃんに
子供を産んでもらって
楽しくやっつけていくんだ
……















































































































































































































